

# 計量経済 I：前期試験

村澤 康友

2017 年 7 月 25 日

注意：3 問とも解答すること。結果より思考過程を重視するので、途中計算等も必ず書くこと（部分点は大きいと与えるが、結果のみの解答は 0 点とする）。

1. (20 点) 以下の用語の定義を式または言葉で書きなさい（各 20 字程度）。
  - (a) 負の 2 項分布
  - (b) (1 変量) 正規分布
  - (c) 相関係数
  - (d) 条件つき期待値
2. (30 点)  $X \sim N(0, 1)$  と  $Y \sim N(-2, 3)$  は独立とする。
  - (a)  $Z := X - Y$  の分布を求めなさい。
  - (b)  $\Pr[4 < Z \leq 5]$  を標準正規分布表を利用して求めなさい。
  - (c)  $\text{cov}(X, Z)$  を求めなさい。
3. (50 点) 某大学の「経済学入門」の試験は○×問題であり、25 問中 6 割以上の正答で合格となる。A 君は一度も授業に出席しておらず、問題文すら理解できないが、コイントス（または鉛筆ころがし）で○×を選び、あわよくば合格しようと考えている。A 君の正答数を  $X$  とする。
  - (a)  $X$  はどのような分布をするか？分布の名称と母数（分布の形を決める数値）で答えなさい。
  - (b)  $X$  の確率関数を式で書きなさい。
  - (c)  $X$  の平均と分散を求めなさい（ヒント：25 回の独立なベルヌーイ試行と考える）。
  - (d)  $\Pr[X \geq 15]$  の厳密な計算は面倒だが、正規分布で近似して求めることができる。標準正規分布表を利用して A 君が合格する確率を近似的に求めなさい。
  - (e) 出題数を 100 問として A 君が合格する確率を近似的に求めなさい。

## 解答例

### 1. 確率・統計の基本用語

- (a) 独立かつ同一なベルヌーイ試行における  $r$  回成功までの失敗回数の分布.
- 「独立かつ同一なベルヌーイ試行」「 $r$  回成功までの」がなければ 0 点.
  - 2 項分布の定義は 0 点.
  - 幾何分布の定義は 2 点減.

- (b) pdf が

$$f(x) := \frac{1}{\sqrt{2\pi}\sigma} \exp\left(-\frac{1}{2}\left(\frac{x-\mu}{\sigma}\right)^2\right)$$

- (c) 標準化した確率変数の共分散.

- $\sigma_{XY}/(\sigma_X\sigma_Y)$  でも OK.

- (d)  $Y = y$  が与えられたときの  $X$  の条件つき期待値は

$$E(X|Y=y) := \begin{cases} \sum_x x p_{X|Y}(x|Y=y) & (\text{離散}) \\ \int_{-\infty}^{\infty} x f_{X|Y}(x|Y=y) dx & (\text{連続}) \end{cases}$$

### 2. 正規分布

- (a) 期待値の線形性より

$$\begin{aligned} E(Z) &= E(X - Y) \\ &= E(X) - E(Y) \\ &= 0 - (-2) \\ &= 2 \end{aligned}$$

$X$  と  $Y$  は独立なので

$$\begin{aligned} \text{var}(Z) &= \text{var}(X - Y) \\ &= \text{var}(X) + \text{var}(Y) \\ &= 1 + 3 \\ &= 4 \end{aligned}$$

正規分布の線形変換は正規分布なので  $Z \sim N(2, 4)$ .

- 平均で 3 点, 分散で 3 点, 分布で 4 点.

- (b) 標準正規分布表より

$$\begin{aligned} \Pr[4 < Z \leq 5] &= \Pr\left[\frac{4-2}{2} < \frac{Z-2}{2} \leq \frac{5-2}{2}\right] \\ &= \Pr\left[1 < \frac{Z-2}{2} \leq 1.5\right] \\ &= Q(1) - Q(1.5) \\ &\approx .15866 - .066807 \\ &= .091853 \end{aligned}$$

(c)  $X$  と  $Y$  は独立なので

$$\begin{aligned}\operatorname{cov}(X, Z) &= \operatorname{cov}(X, X - Y) \\ &= \operatorname{var}(X) - \operatorname{cov}(X, Y) \\ &= \operatorname{var}(X) \\ &= 1\end{aligned}$$

### 3. 2 項分布と正規分布

(a)  $X \sim \operatorname{Bin}(25, 1/2)$ .

- 「2 項分布」で 5 点, 母数で 5 点.

(b)  $X$  の確率関数は

$$p_X(x) = \begin{cases} 2^5 C_x / 2^{25} & \text{for } x = 0, 1, \dots, 25 \\ 0 & \text{elsewhere} \end{cases}$$

(c) 第  $i$  問の正解／不正解を次の確率変数で表す.

$$X_i = \begin{cases} 1 & \text{正解} \\ 0 & \text{不正解} \end{cases}$$

$X_i \sim \operatorname{Bin}(1, 1/2)$  より

$$\begin{aligned}\operatorname{E}(X_i) &= \frac{1}{2} \\ \operatorname{var}(X_i) &= \frac{1}{4}\end{aligned}$$

$X = X_1 + \dots + X_{25}$  より

$$\begin{aligned}\operatorname{E}(X) &= \operatorname{E}(X_1 + \dots + X_{25}) \\ &= \operatorname{E}(X_1) + \dots + \operatorname{E}(X_{25}) \\ &= \frac{25}{2} \\ &= 12.5\end{aligned}$$

また  $X_1, \dots, X_{25}$  は独立なので

$$\begin{aligned}\operatorname{var}(X) &= \operatorname{var}(X_1 + \dots + X_{25}) \\ &= \operatorname{var}(X_1) + \dots + \operatorname{var}(X_{25}) \\ &= \frac{25}{4} \\ &= 6.25\end{aligned}$$

- 平均で 5 点, 分散で 5 点.

(d)  $X \overset{a}{\sim} N(12.5, 6.25)$  とすると

$$\begin{aligned}\Pr[X \geq 15] &= \Pr\left[\frac{X - 12.5}{2.5} \geq \frac{15 - 12.5}{2.5}\right] \\ &\approx \Pr[Z \geq 1]\end{aligned}$$

ただし  $Z \sim N(0, 1)$ . 標準正規分布表より  $\Pr[Z \geq 1] \approx .15866$ .

(e)  $X \sim \text{Bin}(100, 1/2)$  なら

$$\begin{aligned} E(X) &= E(X_1 + \cdots + X_{100}) \\ &= E(X_1) + \cdots + E(X_{100}) \\ &= \frac{100}{2} \\ &= 50 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{var}(X) &= \text{var}(X_1 + \cdots + X_{100}) \\ &= \text{var}(X_1) + \cdots + \text{var}(X_{100}) \\ &= \frac{100}{4} \\ &= 25 \end{aligned}$$

$X \overset{a}{\sim} N(50, 25)$  とすると

$$\begin{aligned} \Pr[X \geq 60] &= \Pr\left[\frac{X - 50}{5} \geq \frac{60 - 50}{5}\right] \\ &\approx \Pr[Z \geq 2] \end{aligned}$$

ただし  $Z \sim N(0, 1)$ . 標準正規分布表より  $\Pr[Z \geq 2] \approx .022750$ .